



*講師/
むらしま あつこ
村島温子 先生

独立行政法人
国立成育医療研究センター
母性医療診療部部長(東京)

■講師のプロフィール

- S57 筑波大学医学専門学群卒業
- S57 国家公務員共済組合連合会虎の門病院内科研修医
- S60 順天堂大学膠原病内科学講座入局
- S63 順天堂大学膠原病内科学講座助手
- H 7 順天堂大学膠原病内科学講座講師
- H14 国立成育医療センター周産期診療部母性内科医長
- H20 妊娠と薬情報センターセンター長併任
- H22 独立行政法人国立成育医療研究センター母性医療診療部部長

主な著書/編集「妊婦・授乳のための服薬指導Q&A」(医療ジャーナル社)、編集「薬物治療コンサルテーション妊婦と授乳」(南山堂)など。

□講師より一言

妊娠中の薬剤使用は慎重になるべきであるが、必要なのに中止して母体の全身状態が悪化するようであれば、かえって胎児への悪影響が懸念される。妊娠・授乳中であっても薬剤を使用するリスクとベネフィットを勘案して判断するのは非妊娠時と同じである。その際の考え方(総論)と、日常診療で使用する機会の多い薬剤の使い方(各論)についてご説明する。また、妊娠と薬情報センターの取り組みについても紹介したい。

2013. **3月21日(木)** pm7:30~

会場 アバンセホール
佐賀市天神3丁目2-11 ☎0952-26-0011

* 医師、歯科医師、薬剤師、他どなたでも *

参加費無料

授乳中の薬の使い方



医科歯科合同研究会

日医生涯教育認定講座

主催 **佐賀県保険医協会**

☎(0952)29-1933 FAX 23-5218
E-mail: hoken-i@star.saganet.ne.jp

■FAX参加申込書

FAX (0952)23-5218

医科歯科合同研究会
妊娠中および授乳中の
薬の使い方

2013.3.21(木)

*定員になり次第、締め切ります。

参加人数

名

医療機関名

お名前

御住所 〒

☎ () -